

(仮称) 大分市消防団ビジョン(案)の概要

1. 大分市消防団について

消防団は、前身である消防組や警防団を経て、昭和22年の消防団令公布に伴い設置された、今年で満71年を迎える非常備の消防機関です。

消防団員は、主に地域住民で構成され、別に生業を持ちながらも、地域を守る大きな力として、火災をはじめとした災害の防除や、住民の防火・防災意識の啓発などを主に行っています。

本市の消防団は、183の「部」で構成され、総勢2,193名(H31.1.1現在)の消防団員達が、自分たちの地域を守るために活動しています。

2. ビジョンの概要

■目的

消防団を取巻く状況は、過疎化の進行や地域における住民連帯意識の希薄化などによって、人員確保が年々困難となり、高齢化が顕著となっています。

そのような中、発生が危惧される南海トラフ地震をはじめとした大規模な自然災害に対する防災力の底上げは喫緊の課題であり、対策として消防団の充実と強化が欠かせない状況となっています。

また、平成25年には「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定されており、その基本理念を踏まえ、スピード感のある新たな施策を展開し、地域防災力の強化を目指すことが求められています。

このようなことから、本市消防団が社会の変化へ柔軟に対応し、地域防災の中核として、市民の安全と安心を守る組織であり続けるための方向性を示すとともに、その実現に向けた施策を進める指針とすることを目的に策定するものです。

■対象期間

ビジョンの実施期間は、2019年度から2025年度までの7年間とし、以後見直しを行う計画です。

■位置付け

ビジョンは、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の目的及び理念を反映し、本市の最上位計画である「大分市総合計画 おおいた創造ビジョン2024」や国土強靱化地域計画に沿って策定する大分市消防団についての中長期的な指針として位置づけます。

■策定方針

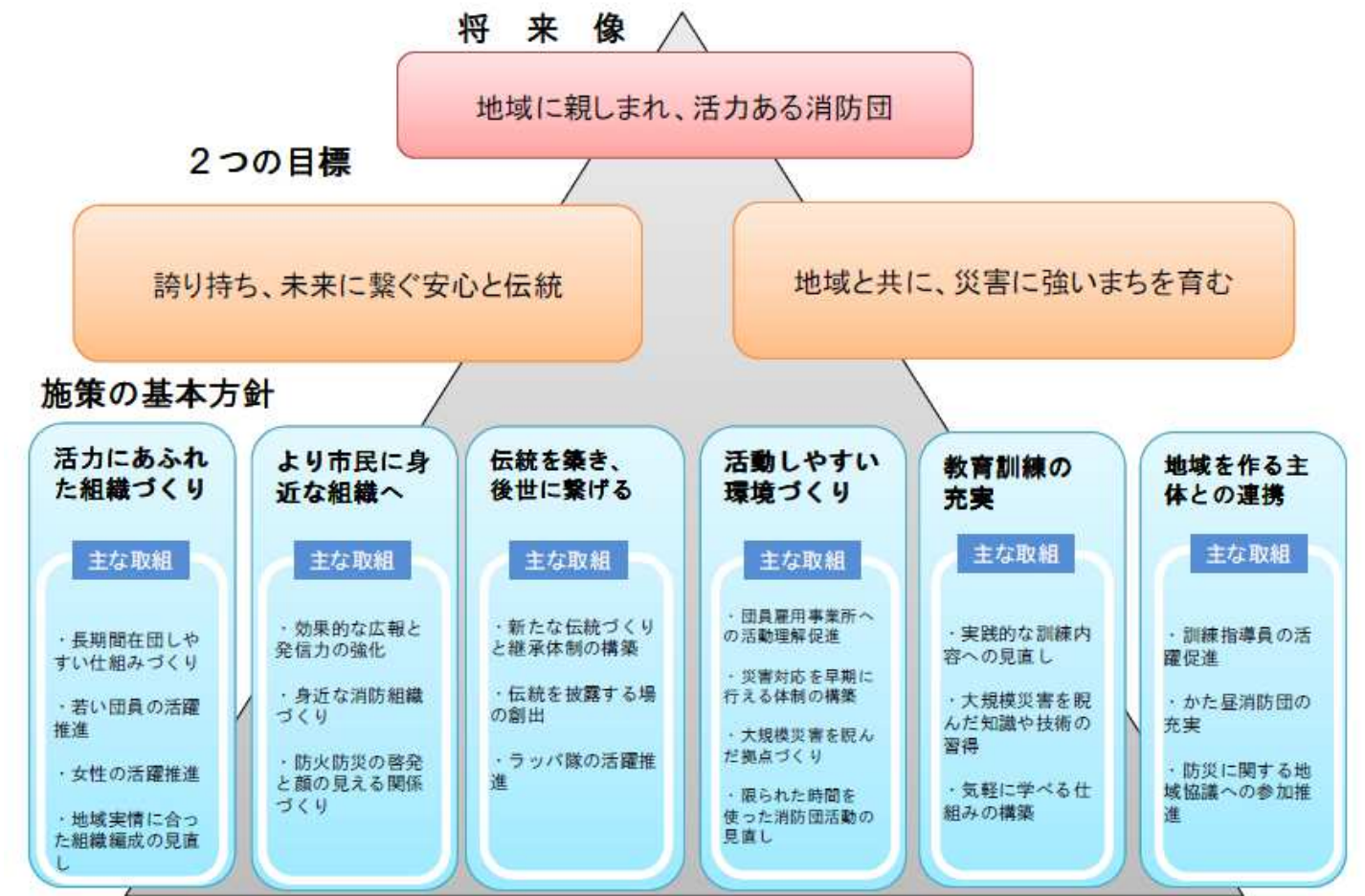
- 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の基本理念を踏まえ、本市の地域特性と消防団の実態を考慮したビジョンとします。
- 消防団員がやりがいと魅力を感じるビジョンとします。
- 多様化する市民ニーズの把握に努め、地域防災の充実に貢献することにより、将来にわたって市民が、安全と安心を感じられるビジョンとします。

■策定体制

市民意識調査や消防団員に対して実施したアンケートなどから把握した現状を踏まえ、外部委員からなる「検討委員会」、消防団を主体とした「策定作業部会」などで検討を行っています。

3. 施策の体系

■目指す姿と取組の一覧



■成果指標



4. 今後の予定

- 3月上旬 第3回(仮称)大分市消防団ビジョン検討委員会(名称の決定等)
- 3月中旬 大分市議会総務常任委員会での完成報告
- 3月下旬 市長報告会(検討委員会)